

TICA Asia East Region の皆様へ

この度 Asia East Region ディレクターに立候補致しました石邑明子です、

私は 1995 年から TICA のショーに参加するようになりました。
以降、2019 年の今日まで Chartreux という猫種一筋でブリードをしております。
1996 年から C.A.T Credo 事務局一員として、
TICA 申請サポート、キャットショー準備や運営等に関わり、
現在は 東京キャットクラブ事務局として
クラブメンバーの書類等サポート、Web サイト上の情報提供等、
東京キャットクラブ運営全般における仕事をしています。
長年にわたり キャットクラブの事務局に携ることにより情報収集と情報提供が
いかに大事かを痛感してきました。

この度、私が TICA Asia East Region ディレクターに立候補いたしましたのは
私がクラブ事務局として 23 年間培ってきた実務経験を
TICA Asia East Region に活かす事ができるのではないかと、
さらなる向上に貢献できるのではないかと考えたからです。

私は皆様に 可能な限り、早急に必要な情報をお伝えし、
今後起こりうる 様々な問題にも真摯に取り組み、仕事はできる限り持ち越さず、
迅速に対応する努力をいたします。

幸い、私には 日々自由に使える十分な時間があり、
どのようなお仕事でも苦に思わない性格です。

時には はっきりと『NO』と言う、常に何事にもクリーンでありたい、
このような性格を Asia East Region の運営に、役立てたいと思います。
リジョンが どのような問題を抱え、収支状況がどのような状態であるかなど、
より多くの皆様にご理解 ご納得いただけるような
風通しの良いリジョン運営を目指してまいります。

Asia East Region を より身近に感じていただくために

1. クラブ代表及びジャッジ会議の実施

ボードで提議された議題についても 時には皆様からの意見を伺う事も必要です。
会議実施の他にも 常日頃から情報及び意見交換ができる場として
メーリングリストのような形態でのコミュニケーションを図りたいと思います。
Region の web サイトに 皆様からのご意見、質問等取り上げるコーナーを設置し、
皆で考え作り上げる そのような Asia East Region を目指します。

2,韓国メンバーのご意見、ご希望なども積極的に取り上げる

韓国の皆様は 同じリジョンでありながら 猫の出入国に際し
検疫制度という大きな壁があり、お互いの猫と一緒にショーに参加することが
非常に困難です。

現状では いくら頑張っても韓国の猫は上位表彰が難しいです。

このような状況を、どのように考え、何を望んでいるのか、

他にも、リジョンに対する意見、希望など、

韓国の皆様の声にも耳を傾け交流を深めていく所存です。

Asia East Region ディレクターという任務は責任も重く、非常に大役です。

自問自答の末、覚悟ができましたので立候補いたしました。

皆様、大事な1票を棄権だけはなさいませぬように、よろしく願いいたします。

さらに 皆様が私に賛同していただけますことを 切に願います。

2019年8月吉日

東京キャットクラブ所属

石邑 明子